

# 令和4年度 事業計画書

当会の公益目的事業は、観賞用花木等の収集保存、育種、栽培、利用の研究、情報の収集と提供及び普及啓蒙等の事業です。

このなかで、当会は活動の方向性を桜苗木の大量配布から、各地の住民団体等に対する桜の名所づくりのノウハウや保全・管理方法の普及啓発へと、“量から質への転換”を図って参りました。令和4年度はこの活動の質的充実をさらに推進していきます。事業の各項目における主な計画は以下の通りです。

## 1) 桜苗木の生産・配布による桜の名所づくりや桜苗木の受託生産と育苗、花や緑を活かした花のまちづくりなどの推進

### (1) 桜の名所づくり

～桜苗木の生産と配布～

桜を中心とした美しく潤いのある地域環境づくりを推進するため、桜苗木の生産と配布を継続して実施し、地元行政や地域住民と一体となった新しい桜の名所づくりを進めます。特に桜苗木の配布に際しては、植栽面積や植栽間隔が充分確保されているか、植栽後の維持・管理体制が明確化されているか、などについて確認した上で実施します。

～さくらコンシェルジュ～

新しい桜の名所をつくりたい、自分達で植栽した桜を健全に育て新しい名所にしたい、あるいは既存の桜の名所を守り後世に伝えたい、といった地域住民団体等の要望に積極的に応えるため当会研究員を現地へ派遣します。住民団体等と共に活動計画を策定して、技術的な支援や指導を行います。

～桜を通じた災害復興支援～

当初は東日本大震災からの復興支援として活動していましたが、令和元年度より風水害などの各種自然災害からの復興を支援対象に加えて、被災地向けに接木1年生苗木や花苗および堆肥などを無償提供しています。桜の後継樹育成や接ぎ木講習会の開催、復興計画の進捗に合わせた桜の植樹や育成指導なども継続して進めます。

### (2) 桜苗木の受託生産と育苗

地元で愛されている桜の苗木増殖や、伐採せざるを得ない桜の保存を目的に、接

ぎ木生産や育苗に関する事業を自治体や団体などから受託します。住民が親しみを感じている桜を育苗し植栽して後世に残すことで、地域住民が愛着を感じる桜の名所づくりに繋げていきます。

### (3) 花のまちづくり

花や緑を活かした地域環境づくりに関する事業を受託して、地域の美しい環境づくりに関する提言や住民と一緒に花壇づくりなどの技術指導を行います。山口県上関町や静岡県熱海市において実施予定です。

## 2) 桜の名所づくりや花のまちづくりに関する講師派遣や講座・シンポジウム等の開催

### (1) 講師派遣

地方自治体等が開催する桜の講習会や勉強会に、当会研究員を講師として派遣します。また、花のまちづくりに関する講演会や勉強会にも当会研究員を派遣し、花のまちづくりの一層の普及啓発を図ります。新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的に、Web 講座の活用にも注力します。

### (2) 桜の保全・管理に関する普及啓発

～サクラ保全管理講座の開催～

桜の樹勢回復の方法や病害虫対策などの技術的・科学的分野と、桜に関する文化的・社会的な分野についての講座を「第 20 回サクラ保全管理講座」として 11 月に東京都内で開催します。樹木医や各地で桜の保全活動を行っている住民団体・個人など、Web 参加も含めて約 150 名の参加者を見込んでいます。

～全国さくらシンポジウムの開催～ (共催事業)

第 41 回全国さくらシンポジウムを山口県岩国市で開催予定でしたが、桜の開花時期に合わせるため、開催日が 3 月 24 日・25 日になりました。このため、2022 年度の全国さくらシンポジウムはありません。

～学び舎の桜プロジェクト…桜を知ろう、守ろう、救おう…～

児童や生徒が学校にある桜に触れる原体験を通して、桜への興味や関心を深めてもらい、桜を守る活動や樹勢回復に繋がることを期待して活動します。PTA や地域住民が参加するケースもあり、桜の名所づくりアドバイザーの協力を得ながら、地域特性に応じた活動内容を心掛けて支援します。

### (3) 花のまちづくりの普及啓発

～全国花のまちづくりコンクールの実施～ （共催事業）

第 32 回全国花のまちづくりコンクールの事務局として、コンクールの質的充実を図ると同時に効率的な運営に努めます。また、昨年実施した審査委員のフリーディスカッションを踏まえて、「募集のご案内」と「応募用紙」を改訂し、花のまちづくりが目指す方向性をより明確にしました。4月から募集を開始し、7月下旬に第1次審査、8月に現地審査、9月に第2次（最終）審査、そして10月に表彰式というスケジュールで進めます。

～全国花のまちづくり姫路大会の開催～ （5月21日・22日、共催事業）

地方での花のまちづくりの普及啓発を目的とした第28回全国花のまちづくり地方大会を兵庫県姫路市で開催します。開催テーマは「人と花・緑がめぐりあう城下町 ひ・め・じ」。全国花のまちづくりコンクールでの大賞受賞者による活動事例発表、天野麻里絵氏による特別講演、交流会、現地見学会などを予定しています。

～こまつの杜での花育～

石川県小松市にある「こまつの杜」において、里山の管理を担うコマツOB/OGのボランティアや「わくわくコマツ館」の社員などと一緒に、近隣の幼稚園や保育園の子供を対象とした花育を実施します。子供たちと一緒に種まき、鉢上げ、花壇への定植を行い、花を育てる楽しさや花の美しさを実感して貰います。また、花を利用したフラワーアレンジメントも予定しています。

### (4) 屋上緑化

都市部のヒートアイランド現象の緩和策として注目されているビル屋上の緑化について、コマツビル屋上庭園の維持管理と一般開放を実施し、屋上緑化の先進事例としての情報発信と普及啓発に努めます。昨年度から Instagram を利用して四季折々の花々や屋上庭園の風景をタイムリーに情報発信しています。

## 3) 桜の品種特性に関する調査研究、桜の樹勢回復に関する調査研究と技術指導

### (1) 自主研究

～桜の品種特性に関する調査研究～

桜見本園で収集保存している桜の花の形状など品種特性の画像データ化を進

め、ホームページ等で情報公開することで、多様性のある桜に対する世間一般の認識が高まるように仕向けていきます。

～桜の樹勢回復に関する調査研究～

結城農場の桜見本園の桜を利用した樹勢回復の試験研究を継続し、全国各地の桜の保全に対応できるよう技術力を高めていきます。

## (2) 受託研究

～桜の樹勢回復に関する調査研究と技術指導～

老齢の桜の樹勢回復に関わる事業を自治体等から受託して調査研究を行い、病虫害の駆除、枯れ枝の剪定、施肥など、樹勢回復の提言と指導を行います。

- ・ 日立市（茨城県）…………日立市内の桜の現状調査
- ・ 幸手市（埼玉県）…………権現堂桜堤の桜樹勢回復
- ・ 富士吉田市（山梨県）…………新倉山浅間公園の桜樹勢回復

## 会員活動の支援について

地方会員組織は全国で27ヶ所あります。各地の会員の活動内容を会報誌「花の友」で紹介し、桜の名所づくりや花のまちづくりを進める住民団体などに会員加入を呼びかけ、地方会員組織の強化に結び付くよう努めます。